

国際病院連盟（IHF）は、COVID-19 に対する感染防止対策や設備対応についての情報を世界の加盟国に呼びかけ、28 カ国から 103 の事例が集まりました。

その中から、足利赤十字病院（栃木県）の全室個室化の実現、陰圧仕様のコロナ専用病床、前室付き陰圧室（10 部屋）、患者・職員動線の区分による感染・非感染ゾーンの完全分離、診療材料の使用前後の別動線確保などについて全職員が徹底して感染防止を実践していることが評価され、最優秀の評価として IHF から表彰を受けました。

●COVID-19 対応表彰プログラム（英文）

<https://www.ihf-fih.org/beyond-the-call-of-duty-for-covid-19/organizations/>

●足利赤十字病院の具体的な取り組み（英文）

<https://www.ihf-fih.org/wordpress/wp-content/uploads/2020/12/BCOD-Final-compressed.pdf>